

## 1. 活動の概要

5月16日(月)、安来市立宇賀荘小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。体験活動は『奈良の大仏』。時間は1時限分でしたので、まずは、しっかり実物大の大仏パネルを組み立てることに重点を置きました。大仏は予想より早く、約15分ほどで完成し、全員で体育館のギャラリーに登って完成した大仏を見下ろしました。

なれているはずの私たちも含め、やはり大きさにはびっくりです。そこからは質問タイムで、完成した大仏をみながら、「大仏の重さはどれくらいあるの～」など、児童の皆さんからもたくさんの質問が出ました。

さて、片付けも重要な仕事ですので、5・6年生全員で片付けていると休み時間になり他の学年の子どもたちも見学に参加。体験学習と言うことで、みんな興味を持っているのがよくわかりました。

最後に、島根県で出土した本物の奈良時代の土器を触ってみるなどして学習しました。「みんなの家の近くにも遺跡がある」と話すと、目を丸くする子も多く、本物の文化財を用いたことで、奈良時代という時代が近くに感じられたのではないかと思います。

## 2. 活動の様子

### 1)奈良の大仏 組み立て



「大仏:組み立て、完成!!」



「大きい…」



高い足のついた、奈良時代のお皿です。

## 3. 子ども塾を終えて

### 1)児童の皆さんから…

- ・みんなで協力して大仏が完成した時はとてもうれしかった。
- ・大仏は想像していたよりも実際にはずっと大きいことがわかりました。
- ・実際に本物を見に行つて勉強したいと思いました。

### 2)担任の先生から…

- ・大仏の大きさを実感。また、このような大仏を作った人々の苦労や権力の大きさも理解できた。

### 3)埋文センターから

大仏パネルはそれなりに重く数も多いので、子どもたちが楽しく協力して大仏を作り上げた点、またほかの学年の子どもたちも手伝つての片付けも見事。非常にまとまりの良い学校であることが実感できました。また質問の時間も皆積極的に、質問も多種多様でした。学校に向いての体験学習の効果が最大限に発揮できたと思います。